

## チェアマンより

西森 典子

昨年中は沢山のかたのご協力でブランチ運営委員会が活動することができました。時間と体を使って毎月会場予約に朝早くから出掛けてくださる方、ブランチ各クラスを維持するために指導をしてくださるティーチャー、そのクラスに出席して下さる方、ブランチ主催の行事に参加くださる方、MCとして、ミュージシャンとして行事を支えてくださる方、貴重な助言をして下さる方、どうもありがとうございました。今年も委員がそれぞれの部署で魅力的なブランチ活動をめざしていきたいと思っています。どうぞ温かいお力添えをよろしくお願いいたします。

New Year Dance2016は1月16日昨年と同じ駒込地域活動センターで行いました。参加者は委員、ミュージシャン含め 92 名で、みなさまの踊っている時の笑顔が素敵で、会場はその日の空模様のようにあたたかい雰囲気になっていました。



今年の委員会での一番の行事は5月に行われる Weekend2016 です。ダンスを楽しみ、お友達との交流を深め、新しい出会いの機会でもあります。大勢のご参加を願っております。迷っていらっしゃる方、締め切りは過ぎましたが、このレターが届いて一週間以内でしたら、受け付けますので、委員にご相談ください。

また昨年の AGM で会費の値上げが £ 20 で承認されました。それに伴い 2016 年度会費は結構上がりますが、ソサエティとブランチの存続のため、更新手続きもよろしくお願いいたします。

私の小さなクラスの話、2年近く身体上の都合で休会していた会員が今年から復帰しました。彼女は6年前位にビギナーとして仲間入りしました。一応普通のフォーメーションは言葉も動きも習得できたかな？レベルでの休会でした。足慣らしのダンスやその後のいくつかのエクササイズを経て、少し複雑なダンスを音楽で踊り通すことができました。最古会員でも経験12年というベテランのいないクラスで、中には一年過ぎたばかりの初心者2人もいるセットでした。パートナーやセットの他の仲間の動き、合図を感じながら踊ったという感想を聞いて、うれしく思いました。一人ひとりがみんなのために自分の持っている能力に応じて助け合いながら一つのダンスを楽しんでいる姿に、これがスコティッシュ・ダンスの良さであり、基礎的なことを地道に積み重ねることとともに協力の大切さをみんなで再認識したひとときでした。素晴らしい音楽に惹きつけられたり、無言の気持ちの通じ合いを感じたりと、ダンスを通しての心がほっとする瞬間と感動にたくさん出会えればいいですね。

2016年2月

---

## AGM 報告 東京 brunch の委任代理人クレメント篤子さんから寄せられました

パースで行われたソサエティの AGM のご報告です。

金曜日にパースに向かったのですが道路の渋滞で時間がかかり、パースに到着した時には疲れ果ててしまって、この夜のダンスには行きそびてしまいました。皆さん、楽しい一時を過ごされたようですが、サンフランシスコ・ brunch の作ったプログラムは、スコットランドの好みと違い「チョットねえ〜」という声も聞かれました。

土曜日の朝は 9 時からのコーヒーとショップで始まり、10 時半からアンジェラ・ヤングとフランク・トムソンによるジェネラルクラス、及びオープン・フォーラムが開かれた。私はクラスに参加。100 人近い参加者が Westminster Reel や Airyhall Delight など 4 曲のダンスを通して、テクニックを学びました。

午後は 2 時からメインイベントであるソサエティの AGM が、バグパイパーの先導によるチャマン、チャマンエレクト、トレジャラー、新セクレターの入場で始まりました。エリザベス女王のロイヤル・グリーティグが読み上げられ、三人にソサエティスコロールが受賞されました。受賞者は、アコーディオニストのジョージ・ミークル、エディンバラのスチュアート・アダム、ロス brunch のレッド・シスルダンサーズのリーダー：コーレイ夫妻、また今回出席できませんでしたが、ロンドンのジム・クックでした。

ソサエティは、現在移行期にあり、プレジデントとヴァイス・プレジデントは空席のままで、検討中とのことでした。

会計報告では、ウェブサイトにかかりの金額が費やされていることへの質問がありましたが、その必要性が説明されました。後からの Membership Services 委員長からの年間報告にもありますが、音楽や解説書などがウェブサイトからダウンロードできるようになりました。

各委員長報告で特筆することは、上記の Website からのダウンロードができるようになったことと、新 Exam system になってから 10 年が経過したので、その内容について再検討しているとのこと、DAA テストがローカルで行われること。2016 年の AGM に合わせて Teachers Associations Conference が開催されること。

委員選出は、空席に対して立候補者の数が足りず、立候補した人たちは自動的に認証されました。

会費値上げの動議は、活発なディスカッションがされ、最終的に賛成 184、反対 146、保留 1 で、可決されました。この数を数えるのに、今まで人が数えていたのですがその正確度が問われ、今回は電動のスイッチによる集計方法が使われました。これのテストなどに時間がかかり、終了は 5 時と、3 時間にわたる長いミーティングとなりました。

その後、7時からパース市長が歓迎するシビック・レセプション、8時から11:30までディビット・カニンガムバンドの演奏による Ball で、盛り上がりました。この模様は You Tube で見ることができます。ボールの最後は英国国家と、Auld Lang Syne で締めくくられました。

日曜日の朝は、9時半からの The Youth Services Committee から始まりました。Drop in と書かれていたので行ってみましたが、これは関係者だけの話し合いのようで話し合いには加われませんでした。その後ジミー・ヒルとモー・ラザフォードによるクラスが 11 時から 12:30 まで行われました。この日は 11 月 11 日の戦争記念日に一番近い日曜日のため、11時に2分間の黙祷が捧げられ、戦争のために戦死した人々を追悼することからクラスが始まりました。何のダンスをしたのか、特に記録をしなかったため、記憶にありませんが、最後に各カップル毎に Montgomerie's Rant, Gates of Edinburgh などよく知られたダンスを一回目はオリジナルチューンで、二回目は違うチューンで 4 カップルが続けて踊る・・・で終わりました。

この週末は天気が悪かったのですが、沢山の人の再会と新しい知り合いを作るいいチャンスでもあり、世界各地からの多くの参加がありました。

Clement 篤子

---

## 運営委員会報告

2015年11月7日

### 1. Weekend 2016 関係

- ・Social Dance プログラム検討、12月に決定する。
  - ・Williamson 氏の来日スケジュール報告。
- 5月26日18:20羽田着、委員数名で日光へ同行し前泊。  
2泊3日東京観光後、出国は5月1日22:55羽田発。
- ・Weekend 二日目午後を交流の時間とする案を検討。

### 2. New Year Dance

- ・12:30受付13時開会だが午前中ホールが借用できず、開き次第、ピアニストは音だし練習。
- ・東京ランチ名で取れなかったので(ローズ会から借用)横断幕などランチ名があるので掲示しない。
- ・MC 決定一小杉・浅井・寺山・松木の4名受諾。
- ・委員の担当決め。

### 3. Book 幹旋

鳥山さんから紹介記事あり。12月ニュース発送時に同封する。グリーン・ブック・新マニュアルも同時に発注する。

### 4. その他

- ・マガジン 21号未着があったため、他にもいないか12月ニュースで問いかける必要あり。
- ・入会希望の問い合わせあり、手続き方法を連絡する。
- ・前セクより引き継いだランチ預かり物・書類などの破棄するものを検討する。
- ・12月ゼネラル・クラスのミュージシャンの件で、CDでクラスを指導してもらおうよう担当ティーチャーに説明すると前回委員会で決定していたが、向こうから指摘を受けた後での説明となったので、今後気をつける。
- ・トレジャーから、本部へ253名分の会費納入の報告。
- ・マガジン翻訳分担当決める。

2015年12月5日

### 1. New Year Dance 2016

- ・各担当準備状況報告・確認。
- ・壁貼りプログラムを貼る下地のシート購入検討。
- ・タイム・スケジュールなど最終確認

### 2. Weekend 2016 関係

- ・案内チラシ確認:概略日程の時間を修正。

- ・Dance Programme 決定。(ミュージシャン・講師へ連絡する)

### 3. 発送文書確認

- ・2016年度クラス・ティーチャー・アンケートの日付確認。
- ・ショップ注文まとめて4種か4部以上注文者には割引してはという案を送料を検討した結果決定する。
- ・マガジン和訳12月20日までに編集し印刷依頼する。
- ・1月・2月ニュース記事:確認
- ・ランチ賞推薦書は前年通りの形式で同封。

### 4. その他

- ・1月ゼネラル・クラス担当者が事情で辞退、急遽替わりのティーチャーをお願いすることとなった。
- ・篤子さんからAGM報告、レター103に掲載予定。
- ・JEC2016東京ランチから3名受験と報告あり。

2016年1月9日

### 1. New Year Dance 2016

手渡しプログラムのチェックと進行時間の確認。

### 2. Weekend 2016 関係

- ・Williamson 氏にダンス・プログラム、ミュージシャンのクラス担当をメール、ミュージシャンとクラスに関しては直接打ち合わせ出来るようアドレスも知らせたら1月になったら連絡するとの返事あり。

- ・Williamson 氏に Weekend 後のホテルは両国ビュー・ホテルの立地条件が良いのでは、ということで提案する。

### 3. 2016年度会費検討

- ・£20に値上がりになったので、2016年度会費は大幅に高くなるが致し方ない。

- ・為替差益を補うため、委員会費ゼロで一年やってきたが、総会で計上してほしいとの意見がでたので、やはり元に戻し東京ランチ会費は100円プラスとなる。

- ・委員会の翌日が3ランチ会議のため、各委員は最終金額を入れて作成した登録用紙をメールでチェック。

### 4. 次期運営委員候補検討

- ・任期満了者2名を含め数名の候補者へ打診を開始。

### 5. その他

- ・ランチ・レター103の発送に向けての編集状況。

- ・本部より会費値上げが AGM で承認されたとの報告。
- ・クラス・ティーチャー・アンケートの途中報告、回答率がとても低い。ビギナー・クラスは今のところゼロ。

## 2016年2月6日

### 1. New Year Dance 2016 総括

- ・参加者数 82 名+委員 8 名+ミュージシャン 2 名。
- ・収支黒字と報告。
- ・今回午前中からホール確保出来なかったため、ミュージシャンにウォーミング・アップの時間がなかった。
- ・更衣室の午前中から借りたことで、遠方からの参加者には食事場所があり喜ばれた。
- ・曲数は少なめであったが、アンコールもあり、早目に終了できたのもよかったと思う。

### 2. Weekend 2016 関係

- ・現在 90 名申し込みあり、100 名が理想だが、もう少し増える見込みなので、ほぼ近い数にはなると思う。
- ・Williamson 氏との連絡状況報告、1 月はケニアのナイロビでクラスを持たれるとのことで、忙しく活躍されている様子。
- ・Weekend 終了後、帰京する前に、日光東照宮を委員数人で案内する案を検討。
- ・帰国前 2 日間のホテルを代わりに予約済み。
- ・東京観光の英語版観光パンフレットを集めておく。
- ・来月委員会にはみんなで踊るチャレンジ・ダンス曲検討する。JRS 各 1 曲。

## ブランチ・クラスで取り上げたダンス

### 1. ビギナーズ・クラス

10月12日講師 渋谷 明美

- |                   |      |          |
|-------------------|------|----------|
| 1. Catch the Wind | H-32 | BK-45    |
| 2. Bedrule        | S-32 | BK-33    |
| 3. Bethankit      | J-32 | Graded 3 |

10月26日講師 渋谷 明美

- |                 |      |       |
|-----------------|------|-------|
| 1. Happy Return | R-32 | MMM   |
| 2. Sugar Candie | S-32 | BK-32 |

11月9日講師 寺久保 ヒロ子

- |                         |      |       |
|-------------------------|------|-------|
| 1. Barley Bree          | J-40 | Bk-13 |
| 2. Anderson's Rant.     | R-32 | MMM   |
| 3. Braes of Breadalbane | S-32 | BK-32 |

- ・参加者には締め切り後、3 月にはダンス・プログラム等の案内を送付するので、そのつもりで準備する。

### 3. 会員登録・更新案内用紙チェック

- ・2016 年度のブランチ会費を検討する。

### 4. 次期運営委員候補進展状況

- ・まだ決まらず、引き続き、適任者に声をかけていく。

### 5. クラス・ティーチャー・アンケート結果の調整・決定

- ・空欄の月は委員で担当。

### 6. その他

- ・ブランチ・レター103、今月26日に発送できる予定。
- ・クラスでの参加者の私語が耳触りと報告がでたので、そのような時は担当ティーチャーに注意してもらおうようクラス担当委員は予め伝えておく。

### 2-2. 本部関係

- ・本部の東京ブランチ担当はエリザベス・ハリーさん。
- ・AGM やサマー・スクールの日程のお知らせ。

### 2-3. その他

- ・ブランチ賞はクレメント篤子さんに決定。境雅子さん、林浩子さんからの推薦による。本部に申請する。
- ・JEC からのボランティア依頼文書を会員に送付する。
- ・ショップで注文とったグリーン・ブックの在庫が少ししかなくて、大幅に遅れるので、担当者が電話連絡する。
- ・鳥山さんからの Tokyo Set 見本で東京ブランチ・ロゴ等を含み確認。
- ・5月ゼネラル・クラスは Iain Boyd に打診して承諾済み。

11月23日講師 寺久保 ヒロ子

- |                      |      |       |
|----------------------|------|-------|
| 1. Campbell's Frolic | J-32 | Bk-15 |
| 2. Largo Law         | S-32 | MMM   |
| 3. Corn Rigs         | R-32 | Bk-4  |

12月14日講師 寺久保 ヒロ子

- |                        |      |          |
|------------------------|------|----------|
| 1. Berwick Johnnie     | J-32 | Graded 1 |
| 2. Happy Return        | R-32 | MMM      |
| 3. The Paisley Weavers | S-32 | Graded 3 |
| 4. Corn Rigs           | R-32 | Bk-4     |

---

12月28日講師 寺久保 ヒロ子

- |                            |      |       |
|----------------------------|------|-------|
| 1. Middling, Thank You     | J-48 | Bk-15 |
| 2. Montgomerie's Rant      | R-32 | BK-10 |
| 3. Sean Truibhas Willichan | S-32 | Bk-27 |
| 4. Happy Meeting           | J-32 | Bk-29 |
| 5. John Cass               | J-32 | Bk-49 |

1月11日講師 神倉 那智子

- |                        |      |       |
|------------------------|------|-------|
| 1. Mrs Stewart's Jig   | J-32 | BK-35 |
| 2. Lady C Bruce's Reel | R-32 | MMM   |
| 3. Monymusk            | S-32 | Bk-11 |
| 1. Mrs Stewart's Jig   | J-32 | BK-35 |

1月25日講師 神倉 那智子

- |                       |      |              |
|-----------------------|------|--------------|
| 1. A Jig for Mrs Dunn | J-32 | Childrens *1 |
| 2. Kingussie Flower   | R-40 | Bk-21        |
| 3. Largo Law          | S-32 | MMM          |

\*1 RSCDS Book for Childrens

## 2. インターミディエイト・クラス

11月2日 講師 クレメント 篤子

- |                                 |     |                |
|---------------------------------|-----|----------------|
| 1. Granville Market             | J32 | Graded 2       |
| 2. Yell' Aye Welcome Back Again | S32 | Bk-7           |
| 3. Merry Lads of Ayr            | R32 | Bk-1           |
| 4. A Trip to Edinburgh          | R32 | Edinburgh 90th |

12月7日 講師 渡部 多美子

- |                              |     |               |
|------------------------------|-----|---------------|
| 1. A Trip to the Drakensberg | J40 | Bk-38         |
| 2. Burnaby at Forty          | S40 | QE Jubilee *1 |
| 3. The Ruby Rant             | R32 | Bk-49         |
| 4. Scarborough Castle        | S32 | The Leeds *2  |
| 5. The First Rain of Spring  | J32 | Bk-49         |

1月4日 講師 神倉 那智子

- |                          |     |                |
|--------------------------|-----|----------------|
| 1. Robbie Over the Waves | R32 | The New *3     |
| 2. Flora's Fancy         | J32 | Bk-49          |
| 3. New Year Wedding      | S32 | Coast to Coast |

2月1日 講師 境 雅子

- |                          |     |          |
|--------------------------|-----|----------|
| 1. Braw Sir John         | R32 | Bk-29    |
| 2. Bonnie Ina Campbell   | S32 | Bk-37    |
| 3. Midsummer Common      | S32 | Bk-49    |
| 4. The Compleat Gardener | J32 | Graded 3 |

\*1 QE Diamond Jubille

\*2 The Leeds Golden Collection

\*3 The New Ruthven Collection

## 3. ジェネラル・クラス

11月7日 講師 小山 かおる

- |                          |       |                  |
|--------------------------|-------|------------------|
| ピアノ                      | 服部 雅好 |                  |
| 1. The New Waterloo Reel | R32   | Book-26          |
| 2. The Haggis Tree       | S32   | Drewry *1        |
| 3. Langleys Road         | J32   | Birmingham '60th |
| 4. Glen Dochart Reel     | R32   | Birmingham '86   |

12月5日 講師 小山 かおる

- |                      |     |                |
|----------------------|-----|----------------|
| 1. Road to Tomintoul | R32 | Imperial Bk3   |
| 2. Edina's Pride     | S32 | Edinburgh 60th |
| 3. Black Donald      | J32 | Carnforth Coll |
| 4. The Windy Lane    | R32 | CaneToad Coll  |

1月9日 講師 五十嵐 成子

- |                             |        |       |
|-----------------------------|--------|-------|
| ピアノ                         | 村上 美枝子 |       |
| 1. The Crossing             | S32    | Bk-29 |
| 2. The Menzies' Rant        | R32    | Bk-7  |
| 3. The Scotsman In America  | S32    | Cosh  |
| 4. Lady Harriet Hope's Reel | R32    | Bk-16 |

2月6日 講師 石田 由美

- |                                  |     |               |
|----------------------------------|-----|---------------|
| 1. The Ladies of Dingwall        | R48 | MMM           |
| 2. Land of The Heather Hills     | S32 | Bk-2          |
| 3. Miss Janet Laing's Strathspey | S32 | Bk-22         |
| 4. Quarry Falls                  | J32 | Bk-14         |
| 5. The Phantom Piper             | J32 | Barry Priddey |

\*1 Autumn '83

## 2016 年度ランチ・クラス担当ティーチャー一覧

2016 年度ランチ・クラスは下記のティーチャーの方々にご指導をお願いすることになりました。ご

☆この予定表は変更になることもありますので、毎月のニュースで再度ご確認ください。

Beginners Class 第 2・4 月曜日 13.30 – 16.00		2016 年	Intermediate Class 第 1 月曜日 13.30 – 16.00		General Class 第 1 土曜日 18.20 – 20.30	
11 日・25 日	鳥山豊喜		4 月	4 日	兼松千奈美	2 日
9 日・23 日		5 月	2 日	田中弘美	7 日	Iain Boyd
13 日・27 日		6 月	6 日	神倉那智子	4 日	西森典子
11 日・25 日	篠塚昌子	7 月	4 日	境雅子	2 日	小幡正明
8 日・22 日		8 月	1 日	金田治子	6 日	鳥山豊喜
12 日・26 日		9 月	5 日	渡部多美子	3 日	鳥山豊喜
10 日・24 日	寺久保ヒロ子	10 月	3 日	中田多鶴子	1 日	小幡正明
14 日・28 日		11 月	7 日	佐藤仁美	5 日	若松陽子
12 日・26 日		12 月	5 日	神倉那智子	3 日	クレメント篤子
2017 年						
9 日・23 日	小杉由美子	1 月			7 日	石田由美
13 日・27 日		2 月	6 日	有田深雪	4 日	有田典和
13 日・27 日		3 月	6 日	境雅子	4 日	富谷佐千子

## 2015 年度東京ランチ賞 クレメント篤子さん決定！

東京ランチ賞候補者推薦を公募しておりました結果、Edinburgh 在住のクレメント篤子さんを、と境雅子さん、林浩子さんから推薦状が届き、委員会で決定、本部に賞の申請をいたしました。長年東京ランチの代理人として AGM に出席されて、いろいろな情報を報告、サマー・スクール参加の日本人の世話、亡きクレメント氏とともに日本へのスコティッシュ普及・推進に力を注がれています。Weekend、総会のどちらも篤子さんのご都合が悪くて、3 月 5 日のゼネラル・クラス場で授与式を行います。急なことですが、みなさまとともに、感謝とお祝いの気持ちをお伝えしたいと思いますので、ご参加をお待ちしております。

## 新 CD・Book 紹介

Tom Toriyama

### (1) The Third Sheaf Collection of SCD – CD およびブック

Neil Barron and His Scottish Dance Band

Cream Tea (S 3x32), The Damflask Strathspey (S 3x32), Fáilte gu Alba (R 8x40), The Hope Valley Reel (R 8x40), The Potter's Wheel (R 4x32), Sheffield Castle (S 2x32 + R 2x32), Silverdale Strathspey (S 4x32), Swings and Roundabouts 4x (S 32 + R 32), Swirling and Twirling Leaves (J 8x32), Toddle wi' Joy (R 8x40), Wake Up Ones (J 5x32), The Winter Garden (S 8x32)

### (2) Aberdeen RSCDS 90th Anniversary Collection – CD およびブック

---

Frank Thomson and His Scottish Dance Band

Anne McArthur (S 3x32), Jollity (J 4x32), The Librarian's Daughter (S 4x40), Falls of Feugh (R 3x32), Amazing Grace Strathspey (S 4x32), Welcome to Nerja (J 5x48 SQ), A Toast to Aberdeen (S 3x32), Mrs Ruth Housden (R 4x40), Tullynessie and Forbes Hall (S 3x32), The Sunnyside (J 8x32)

(3) Coast to Coast with Scotch Mist— CD (踊り方説明書つき)

Laird Brown and Scotch Mist

Brenda's Jig (J 4x32), New Year Wedding (S 3x32), Promise of Spring (R 8x32), The Snow Eater (J 8x32), Lilibet's Strathspey (S 4x32), The Reel of Pinehurst Eight (R 4x32), A Trip to Crinan (J 8x32), Amhuinnsuidhe Castle (S 8x32), The Quinte Gathering (R 8x32), Itchy Feet (J 8x32), Phoenix Rising (S 4x32), George Watson of Tipperlinn (J 8x32), Father to Son (R 8x32), Lament, Waltz

(4) The Tokyo Set –ブックのみ

Devised by Iain Boyd

Bring Forrit the Tartan (3C-32S), On Bended Knee (3C-32J), On the Incoming Tide (3C-32J), By the Light of the Moon (3C-32R), At the Bottom of the Garden (3C-32R), Come, Play Us a Tune (3C-32J), The Way Out of the Woods (3C-32S), Loch Assynt (3C-32J), Raising the Anchor (5C-32J), In Yonder Glen (3C-32S), Here and There and Everywhere (3C-32R)

ピリング・ブック第9版の状況—CD 紹介に先立ち、ピリング・ブック新版の状況をお知らせする。日本では「グリーンブック」で通用しているピリング・ダイヤグラム・ブックは第8版が2004年、その追録版が2009年に発行されて以来、そろそろ新しい版ができていいころである。第9版の進み具合について、プロジェクト責任者スー・ダケットがクリスマス・レターでつぎのようにつたえてきた。『あまりポピュラーでないダンスを外し、親しまれているダンスをとり入れるのに、たくさんの時間がかかっている。コンピュータを使ってプロットしているが、1ダンス当たり30分かかり、対象となるダンスは300を超える。第9版がいつごろ出現するか、はっきりしたことが言えず、申し訳ない』。第9版の発行は、早くてことしの秋であろう。

さて (1) The Third Sheaf Collection は、シェフィールド・ブランチが2015年に60周年を迎え、記念につくったブックとCD。RSCDS サマースクール2015でブックは売っていたが、CDはまだ録音中で、11月末になって完成した。シェフィールド・ブランチの会員によるダンスで、シンプルな踊りは2曲ほど、のこりはいずれも経験者向きである。1組は1stコーナーと位置を変ったあとCWに移動する、というような変ったコーナー・フォーメーションが多用されている。パラレルの Left shoulder reels of four やダイアゴナルの La baratte なんかもある。いまだきの流行りでない8x40の踊りが3曲もあり、シ

ェフィールドには元気な人がたくさんいるらしい。巻末にダイヤグラムがあり、小さくて見にくいけれども、日本人にはありがたい。ゲール語 Fáilte gu Alba はどのように発音するのかシェフィールド・ブランチにきいたところ、'fahl-chu goo al-ba'ファールチ・グー・オルバ、意味は Welcome to Scotland とのこと。

CD はシェフィールド(南ヨークシャ)に近い西ヨークシャに住むニール・バロンのバンドが演奏している。ニール・バロンは Book 4 や Book 15 の CD、最近ではリーズ・ブランチ 50 年の CD (2014 年) を担当している堅実な演奏のバンドである。遊び心のないバンドなので、ストラスペイはそのぶんしっかりした踊り方をしたい人に向いている。ジグ、リール演奏の得意なバンドで、この CD でもリールが楽しい。トラックごとの演奏時間表示はないが、パソコン上の表示によればジグ、リールは遅め、ストラスペイはやや早めのスピードである。【注文略号：シェフィールド・セット】

(2) Aberdeen 90th Anniversary Collection であるが、こちらはアバディーン・ブランチ 90 周年の記念ブックと CD。ブックの体裁はブツブツの入ったくすんだ色でさえないが、これはアバディーンがグラニット(花崗岩)・シティの別名で呼ばれるほど、花崗岩(みかげ石)の建物が多いことに由来している。花崗岩の色合いを表紙に映しているのである。アバディーン

の会員によるダンス 9 曲に加え、同ブランチに多大な貢献を  
なしたジョン・ドゥルーリをたたえて、かれの The Sunnyside  
が入っている。説明文ページのすべてにテーマにちなむ写  
真があり、踊りへの興味を引き立たせている。ダンス内容は  
前項のシェフィールドのブックよりもやさしいが、説明文にいく  
らか不親切なところがある。5 カップル・スクエアの Welcome  
to Nerja (Nerja はスペイン・アンダルシア海岸の町、ネルハ。  
ナージャではない) がちょっとトリッキーなくらいである。The  
Sunnyside を除いて長いダンスがないのもおもしろい。  
RSCDS の Book 48 (2014 年) 以降、ダンス・ブックにダイヤグ  
ラムを加えるのが普通となっており、このアバディーンの本  
クにも巻末にそれがある。

演奏は Book 27 や Queen's Diamond Jubilee Book (2012)  
の CD を録音しているフランク・トムソン・バンド。フランク・ト  
ムソンはアバディーン周辺で活躍しているバンドである。  
Queen's Diamond とこのアバディーンの本 CD とは同一の本  
ド・メンバーなのに再生の音量と艶っぽさがまったく違う。録  
音は Queen's Diamond がセイン・スタジオ、この CD はミル・  
オブ・ハーン・スタジオで、録音スタジオの違いによって音の  
品質が左右されるというわけである。前述のとおり、音に艶が  
あり、アコーディオンとフィドルが溶け合っていて軽快、明快  
な演奏である。8x32 のストラスペイがほしいところだ。  
Amazing Grace Strathspey に、例の有名な曲は入っていな  
い。【注文略号：アバディーン・セット】

(3) の Coast to Coast は、昨年日本フォークダンス連盟が新  
しいスコティッシュ・ダンス集として全国にその一部を講習し  
た CD である。カナダのレアード・ブラウンが主宰するバンド、  
スコッチ・ミストの最初の CD でダンス説明書つき。レアードの  
父、故ボビー・ブラウンとそっくりの演奏で、アコーディオン、  
フィドルに歯切れのよいタッチがほしいところだが、流れるよ  
うな演奏を好むブラウン・ファンもおり、これはこれでよいのだ  
ろう。音に鮮明さが欠けているのは編集時のミキシングのせい  
とおもう。実際の踊りには、まったくさしつかえがなく、どのトラ  
ックでも楽しく踊れる。4 つのストラスペイはすべてエアであ  
る。

ダンスはカナダ人によるもので、ビギナーズ・レベル (A Trip  
to Crinan) から経験者向き (The Quinte Gathering や  
Lilibet's Strathspey) のダンスが含まれている。それぞれに  
おもしろい、楽しいダンスである。Amhuinnsuidhe はこれで

アブンスーイーと読む、というのだから、あちらのことはま  
ったく難しい。説明文は RSCDS Book なみにきちんと述べられ  
ている。文字サイズがルビみたいにかさいので、拡大コピー  
したほうがよい。【注文略号：スコッチ・ミスト CD】

(4) The Tokyo Set は、Trysting Place (Book 35) や Loch  
Ness Monster (2nd Graded Book) の作者として有名なニュ  
ージーランドのイアン・ボイドによるダンス・ブックである。なぜ  
『東京セット』なのか？ 2010 年 5 月、東京における  
Examinations にニュージーランドからノリン・オコナーがエギ  
ザミナの 1 人としてやってきたが、彼女のパートナーであるイ  
アンもいつしよに来日した。実地試験ならびに試験後のペー  
パーワークでエギザミナは多忙をきわめるが、イアンには自  
由な時間があり、岡田昌子さんと神倉那智子さんのクラスで  
計 3 回、指導機会を得た。そのとき指導したダンス 11 曲を 1  
冊にまとめたものがこの東京セット。既発行ダンスもあったの  
で正式出版していない、とのことである。今回イアンの許可を  
得て(もちろん著作権料を払って)東京ブランチで複写するこ  
とになった。

イアンが 1984 年から 2006 年までに作ったダンスで、未経験  
者にも楽しめるものがたくさん含まれており、万人向きのダン  
ス集である。At the Bottom of the Garden, The Way Out  
of the Woods, 5C の Raising the Anchor, Here and There  
and Everywhere がいくらかトリッキーでおもしろい。東京で  
指導したダンス集であるが、日本/東京にちなむダンスはない。  
推奨するチューンと、録音音楽ではこのトラックがよいという  
指示があるが、いまでは入手困難な録音もあり、その場合は  
各リーダーが最適録音を選択すればよい。【注文略号：東  
京セット】 \* \* \*

以上の品物のご注文は注文略号、数量、金額を明記のうえ、  
郵便振替 00240-0-63517 東京ブランチでお申し  
込みください(送料込み)。

シェフィールド・セット	¥4,700
アバディーン・セット	¥3,700
スコッチ・ミスト CD	¥2,700
東京セット	¥1,300

ショップ担当 大野宏子 042-576-9587

h-oono@cam.hi-ho.ne.jp

締切り 3月18日(金) お渡し予定 4月中旬